

REGISTERED CUSTOMS SPECIALIST

あなたの期待に、日本関税協会が応えます。

日本関税協会

検 索

<https://www.kanzei.or.jp/>

通関士 養成講座

公益財団法人 日本関税協会

国家資格

2023
年度



貿易実務の
スペシャリストになる

輸出入業務に欠かせない人材

「通関業務のエキスパート」 として活躍を！



「通関士」と聞いて、皆さんは彼らがどのような業務を担っている人たちなのかご存知でしょうか？

日本の企業が外国の企業と貿易取引をして商品を輸出入する際、税関に申告をして許可を得る必要があります。この手続きを行うには高度な知識を要するため、通常輸出入を行う企業は、専門の企業に代理・代行業を依頼します。その代理・代行業を行う企業が通関業者であり、書類の審査などを行うのが「通関士」です。通関業者には、通関業法の規定により「営業所ごとに通関士を置かなくてはならない」と義務付けられています。日本が外国と貿易を行う上で不可欠な通関業務のエキスパート、それが「通関士」です。

Q 通関士になったら、どんな活躍の場がありますか？

通関士が活躍できる現場は多岐にわたります。通関業者はもちろん、通関士資格取得者を優遇する企業や団体は数多くあり、国際化の進展とともに活躍の場は一層広がっています。

商社



海外企業との商品取引を行う商社では、通関の仕組みに詳しい人材が求められています。そのため社員にも通関士資格の取得を推奨している企業が多くあります。

航空会社・船舶会社



国際貨物を扱う航空会社や船舶会社でも、通関業務を行っています。通関士の資格を取得することで、それらの企業への就職・転職のチャンスが広がります。

物流関連企業



運輸会社や倉庫などの物流関連企業では、通関業務を兼業している企業が多くあります。社員が通関士の資格を取得すると、手当を支給する企業が多いようです。

メーカー



海外企業との商取引が増加する企業が増えるとともに、生産拠点を海外に移すメーカーも増えており、通関業務や関税率に詳しい通関士への人材ニーズが高まっています。

その他



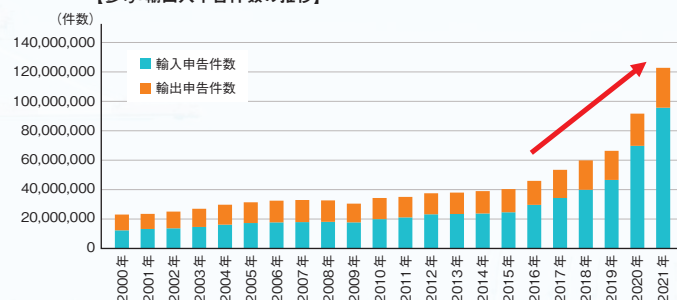
そのほかにも、旅行業界や小売・流通業、貿易・物流業務に関わるコンサルティング会社など、幅広い業種で通関士に対する人材のニーズが見込まれます。

Q 通関士は今後も必要とされる資格ですか？

我が国の輸出入申告件数は、グラフのとおり、近年著しい伸びを示しており、2021年の輸出入の総申告件数は1億2,270万件と1億件を超えています。

これらの申告手続には通関士の審査が必要であり、今後も通関手続のプロフェッショナルである通関士のニーズは増すものと思われませんが、通関業者には、必要な人材確保が十分でないという現状があります。貿易業界で唯一の国家試験ですから、これから就職や転職をする方にとっても資格取得は有利に働くでしょう。将来自分がどんな仕事をしたいかを見据えて、資格取得に臨んでみませんか？

【参考：輸出入申告件数の推移】



財務省税関ホームページ、関税レポート2022を基に作成

通関士試験概要

受験資格 学歴、年齢、経歴、国籍等についての制限はありません。

願書受付 令和4年7月25日(月)～令和4年8月8日(月)

実施日 令和4年10月2日(日)

実施地 北海道・新潟県・宮城県・東京都・神奈川県・静岡県・愛知県・大阪府・兵庫県・広島県・福岡県・熊本県・沖縄県

合格者受験番号発表 令和4年11月8日(火)

合格発表日 令和4年11月25日(金)

試 験 科 目	出 題 形 式 ・ 配 点			時 間
通関業法	選択式	語句選択式	5問 (25点)	50分
		複数肢選択式	5問 (10点)	
関税法、関税定率法その他関税に関する法律及び外国為替及び外国貿易法 (同法第6章に係る部分に限る。)	択一式		10問 (10点)	100分
	選択式	語句選択式	5問 (25点)	
		複数肢選択式	10問 (20点)	
	択一式		15問 (15点)	
通関書類の作成要領その他通関手続の実務	輸出・輸入申告	輸出申告	1問 (5点)	100分
		輸入申告	1問 (15点)	
	計算式		5問 (10点)	
	選択式	複数肢選択式	5問 (10点)	
	択一式		5問 (5点)	

※上記試験概要は、前回(第56回)の通関士試験の公示内容の一部です。2023年度の試験要項は、財務省税関のホームページでご確認ください。(2023年7月上旬頃公示予定)

通関士試験は年に1度の国家試験であり、2022年度の合格率19.1%でした。

貿易実務のスペシャリストである通関士の資格取得のため、日本関税協会が主催する養成講座が有効です。

講座の特長

- 知識のレベルに合わせたアドバイス体制
- 一人一人の疑問に迅速回答する「質問フォーム」
- 指導するのは試験に精通した頼れる講師陣
- 初学者でも安心のわかりやすいテキスト
- 6カ月で合格を目指す充実のカリキュラム
- 通関士養成指導歴50年以上の実績

学習のスケジュール

4月1日 (土) 通関士養成講座 開講	4月12日 (水) 第1回課題 発送日	5月1日 (月) 第1回課題 提出〆切	5月10日 (水) 第2、3回課題 発送日	5月24日 (水) 第2、3回課題 提出〆切	6月14日 (水) 第4、5回課題 発送日	6月28日 (水) 第4、5回課題 提出〆切
7月12日 (水) 第6、7回課題 発送日	7月26日 (水) 第6、7回課題 提出〆切	8月5日(土) 8月6日(日) 通関実務 特別答練	8月20日 (日) 全国通関士 模試	10月上旬 第57回通関士 試験	11月上旬～12月上旬 第57回通関士試験 合格発表	

VOICE

先輩たちの声

初回受験合格への対策と工夫は

～いかに早く基礎知識を定着させ、通関実務に時間を割けるかどうか～

2021年度 通関士養成通信教育講座 受講 K・Sさん

私は過去に海貨業者で勤務経験があり、貿易条件(インコタームズ)は理解している状態で、通関士養成講座を軸に学習を進めました。講座前期の4～5月は講座の動画を見ながら関税法・関税定率法・関税暫定措置法をメインにテキストを精読し、HS CODEの分類の暗記など基礎的な部分の定着を図りました。中期の6～7月は通関実務関連の基礎知識を定着させ、後期の8～9月には問題集や過去問に時間を費やしました。また、試験当日の時間配分を体験す

るために模試も受講しました。試験当日は対策していても、到底解けないような問題が出題されることもあるので、確実に取れる問題をしっかり見直し落とさないようにする必要があったと感じました。出題傾向は年度により変わりますが、申告書問題は実線的な内容で、いかに早く基礎知識を身に付け、問題集・過去問に時間を割けるか、が合格へのカギだと思います。

試験に精通した名物講師陣

財務省税関研修所教官の経験を
活かした合格に直結した
わかりやすい講義に定評



うらい しげ お
浦井 茂穂氏

PROFILE

財務省関税局で通関制度の改正、各税関では通関、AEO、保税など幅広い業務に携わる。講習では、関税法の講義を行うほか、特別答練、ガイダンスなども担当しており、難解な内容をわかりやすく伝えることに高い評価を得ている。

ADVICE
1 合格の鍵は原理原則を理解すること。
そのために、講義やテキストを
しっかりと理解しよう。

ADVICE
2 聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥。
わからないことは積極的に質問し、
最短で合格を掴みとろう。

原理原則を知れば恐くない 講師がわかりやすく説明します

通関士試験は覚えることが非常に多く、全てを暗記しようとするのは難しいです。さらに、時代が変われば法令や規定も変わりますので、覚えたことが通用しない場合もあります。ですが、なぜこの法令があるのか、といった原理原則を理解することで、初めて見る問題にも対応することができます。講義では、法令の立案に携わった人、長年現場で実務を行っていた人など、経験豊富な講師陣が初学者の人にもわかりやすくお伝えしていますので、まずは原理原則を理解することを意識してください。

合格するのはよく質問をする人 恥を恐れず積極的に質問しよう

合格する人の傾向として、よく質問をする人が挙げられます。わからないことはそのままにせず、すぐに質問をしてなるべく早く疑問点を解消するようにしましょう。質問することを恥ずかしく感じるかもしれませんが、記憶には必ず残りますし、それで合格できれば一時の恥でしかありません。皆さんは合格するためにお金と時間を投資していると思いますので、わからないことは恥を恐れず積極的に質問しましょう。

立法主旨、改正経緯を
踏まえた講義で
合格への最短ルートを伝授



さいとう かず ひさ
齋藤 和久氏

PROFILE

財務省関税局で、法律や政令の企画立案・改正に深く携わり、立法主旨、改正経緯を踏まえた講義には高い評価を得ている。通関業法、関税法や課税価格の計算問題など幅広い分野を担当。

ADVICE
1 まずは学習時間を確保したうえで、学習
計画を立てて学習しつつ、スケジュール
管理をしっかりと行いましょう。

ADVICE
2 学習教材を決め、繰り返し学習すること。
また、得手不得手の分野と配点を考慮し、
学習時間の配分を考えましょう。

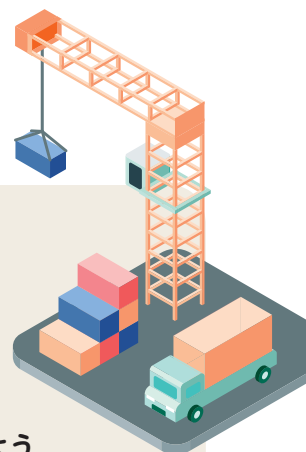
学習なくして合格なし 無理のない学習計画を立て学習すること

関税法等の知識がなく初めて通関士試験を受験する場合、学習期間を4月～9月として、毎日3時間以上の学習は必要です。この時間を1日の中でどう捻出するか、自分の生活習慣を精査し、隙間時間を含め学習時間を確保しましょう。その上で、いつまでに何を学習するのか、1日の中では何をどこまで学習するのかといった計画を立てて学習することが大切です。諸事情により、計画通りに進まないことは当然ありますが、その場合には計画を見直しながら学習しましょう。

同じ教材を繰り返し学習すること すべて同じ程度に学習する必要なし

学習教材は配付されるもので十分です。中でも、テキストと「問題・解説集」は基本ですので、原則3回は繰り返しましょう。ただ、合格基準は3科目とも6割以上ですので、どうしても頭に入らない分野で配点が低いのであれば「諦める」ことも選択肢です。例えば通関実務の試験で、申告書作成や計算問題が不得手であっても、これらは配点が高いので、「ゼロからの申告書」や「計算ドリル」による学習も必要ですが、分類の正誤問題など配点が低く不得手なものは学習時間をかけないという選択肢もあります。

「関税法等のプロフェッショナル」であり、「通関士試験のプロフェッショナル」である日本関税協会の講師たちは、受講生の皆さんを合格に導くとともに、日本の貿易産業を支える優秀な通関士として活躍できるよう、さまざまな工夫を凝らしています。そのこだわりの講座やテキスト、カリキュラムには、毎年大変好評をいただいています。



財務省税関の 長年にわたる経験で 関税法の全てを熟知する



ししど ひでゆき
宍戸 秀行氏

PROFILE

財務省関税局では長年にわたり保税、輸出入業務を広く手がける。また、財務省税関研修所で、教官の経験を持つ。輸出入通関制度、保税制度を担当。テキストの執筆やWeb講義での講義などを行う。目指すのは、一人一人に寄り添う講習。

ADVICE
1 全ての基礎となる条文を
頭に入れること。基礎を固めてから、
応用問題に挑戦しよう。

ADVICE
2 長丁場となる試験勉強期間に、
根気は欠かせない。
悩んだ時は遠慮せず質問を。

基本の条文は、 背景まで理解した上で暗記を

関税法の基礎を学ぶにあたって欠かせないのは、重要な条文を覚えることです。基本となるものはとにかく頭に入れておく。それによって、応用問題も解けるようになります。条文の数は膨大ですが、テキストに重要な部分がまとまっていますので、ぜひ活用してください。講義では、条文の背景を解説します。制定に至った背景まできちんと理解することで、知識が定着するのです。また問題を解くだけでなく、定期的にテキストを読み込むことを習慣にしましょう。全てのベースとなるのは条文です。まずは基礎を固めることを心掛けてください。

質問倉庫を活用した 綿密なフォロー

一人一人に寄り添うような講座にしたいと思っています。一度つまずくと、以降ずっと疑問が残ってしまいますから、わからない部分は遠慮せず質問しましょう。力を合わせ、共に合格を目指しましょう。

VOICE 先輩たち の声

課題を締切までに提出できるよう 計画的に学習を進めました

私は4月から勉強を始めて課題を締切までに提出できるよう計画的に学習を進めました。テキストを一度読んでくだけでは頭に入りませんが、1回で理解しようとはせず、分からない箇所は後回しにしてとにかく計画通り進めるよう心がけました。「テキストを読む→問題集に取り組む→間違えた箇所を復習、時間を空けて再度問題を解く→課題に取り組む」と計画通りに勉強すると、語句の理解が深まり当初分からなかった箇所も学習した知識がリンクして初めより容易に理解できるようになっていました。7月からは実務の申告書問題や計算問題等に力を入れ、間違えた問題を中心に最低3回は取り組みました。模試受験前には過去問3年分に取り組み時間配分に気をつけ出題傾向を掴むよう意識し、初受験で合格することができました。

[2021年度合格：匿名希望さん]

毎日少しでも勉強し 勉強時間ゼロの日をつくらない

私は現在勤務する会社で「通関士」資格を知り、会社が推奨していた関税協会の通関士養成講座を受講することになりました。勉強はテキストが届いた4月からで、問題と解説を読み進めるという方法で進めました。テキストは指定されたスケジュールを前倒しで進め最低3周することを意識し、毎月の課題も力試しと思い真面目に取り組みました。「関税法等」と「通関業法」の勉強は知識が定着していくと覚えるのが楽しくモチベーションの維持ができました。7月からは「通関実務」の勉強を始め養成講座から送られてきた「ゼロからの申告書」「計算問題ドリル」「関税評価ドリル」を完璧にやりこめました。模試受験は知識が足りない部分も確認できるのでおすすめです。振り返ると特別な勉強はしませんでした。毎「毎日少しでもいいから勉強する、勉強時間ゼロの日をつくらない」を意識した1年でした。

[2021年度合格：T・Eさん]

「6割とれればいい」と 気持ちの余裕を持つことが大切

私は輸出会社の経理部勤務で通関業務に直接関係はありませんが、知識をつけるため通関士試験を受けることを決めて通関士養成講座を受講しました。4月～7月までは送られてきたスケジュール表どおりに講義→過去問集→分からない箇所はテキストを精読し、1類から97類まで具体的な商品名などを暗記することに注力した結果、通関実務の申告書問題に費やす時間の短縮ができるようになりました。8月からは関税評価ドリル以外のすべての問題集と課題を最低4周以上は繰り返し、正誤問題は解答の横に理由まで書いて精度を高めるよう努力しました。個人的には、養成講座でもらえる教材をやりこめば十分に合格を目指せるとしています。

[2021年度合格：匿名希望さん]

2023年度
通関士養成

通信教育講座

(教育訓練給付制度対象講座)

※詳しくはp8をご参照ください。

\\ こんな人にオススメ! //

- ① 独学で勉強を続けていく自信がない。
- ② マイペースで勉強を進めたい。
- ③ 学校に通う時間がない。

日本関税協会のノウハウが凝縮された、信頼と伝統の講座です。工夫を凝らしたオリジナルのテキストと、ベテラン講師陣による丁寧なフォロー体制がポイント。学校に通う時間がないという方でも、しっかりとサポートします。

POINT

1 試験と実務に精通した「先生の先生」が指導

本講座のテキストや問題集を監修しているのは、主に税関研修所の元教官。試験対策の指導実績が豊富で、通関実務にも詳しいベテランぞろいです。スクールによっては、通関士試験の合格者が講師を務める場合もありますが、当協会の講師陣はいわば「先生の先生」。指導力には確たる自信を持っています。



指導経験豊かなベテラン講師が多数在籍しています。(次年度講座検討会)

POINT

2 初学者にもわかりやすいテキスト

フローチャートなどを多用し、「初学者でもスムーズに理解できる」テキストを用意しています。テキストには「学習到達目標」を設定し、自分の進捗度を意識しながら学習を進められるようになっています。



難解な法令をわかりやすく解説したテキストです。

POINT

3 7回の課題で実力を把握しながら学習

本講座では、6カ月の期間中に計7回の課題に取り組みます。課題は、通関士試験を熟知した講師陣が試験官の視点に立って、前年の試験直後から作成しています。毎回各自に成績表とアドバイスが送付されますので、自分の実力を把握しながら学習に取り組むことができます。

2018年度 通関士養成通信教育講座 成績表 (第1回試験実施後)

受講生番号	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	平均
1	85	78	82	75	80	79	81	79.9
2	78	82	75	85	79	81	77	80.6
3	82	75	85	78	80	77	83	80.1
4	75	80	78	82	77	83	79	79.3
5	80	77	81	79	83	78	82	80.0
6	79	81	77	80	78	82	79	79.6
7	83	78	80	77	81	79	82	80.0
8	77	83	79	81	78	80	77	79.6
9	81	79	83	77	80	78	81	80.0
10	78	80	77	82	79	81	78	79.6
11	82	77	80	79	81	78	82	79.9
12	79	81	78	80	77	82	79	79.6
13	80	78	81	77	82	79	80	79.6
14	77	82	79	81	78	80	77	79.6
15	81	78	80	77	81	79	82	80.0
16	78	81	77	80	79	82	78	79.6
17	82	79	81	78	80	77	81	79.9
18	79	80	78	81	77	82	79	79.6
19	80	77	82	79	81	78	80	79.6
20	77	82	78	80	79	81	77	79.6

課題ごとに返送される成績表で、自分の実力を把握し、学習スタイルを見直しましょう。

POINT

4 一人一人の質問が全員の共有財産に

学習に関する疑問・質問のある時は、受講生専用ウェブサイトから「質問専用フォーム」に質問を入力して送信します。



担当講師が直接回答を返しますので、レスポンスが早く丁寧な解説が自慢です。受講生からの質問はデータベース化され、全員の共有財産となります。他の受講生の質問を閲覧することで、より一層理解が深まります。「質問専用フォーム」による質問回数は、受講期間中20回までです。

POINT

5 スキマ時間を有効に活用できるWeb講義

Web講義は、各学習項目の要点を絞り収録された講義動画を好きな時間に何度でも視聴することができます。また、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットでも視聴することができますので、通勤時間中や外出先の利用も可能です。1本当たりの動画時間は30分程度、総講義時間約20時間を予定しています。スキマ時間を有効活用し学習に取り組みましょう。

※動画を視聴する際の推奨環境についてはホームページをご覧ください。



POINT

6 オプション講座 特別答練

「特別答練(通関実務)」は、2科目までは合格レベルの自信があるが、第3科目の突破にはまだ及ばないという受講生にお勧め。これまでの知識を整理し、弱点を克服する2日間の集中講座。講師の指導により理解を深め、合格を目指します。



講師への質問は「質問専用フォーム」から!

※メール、FAX、電話での質問はできませんのでご注意ください。
「質問専用フォーム」のご利用にあたってはインターネット環境が必要です。

講座内容

受講期間:2023年4~9月 申込締切:2023年 **4月3日 月 12:00**

■講座内容(課題:合計7回)

回	講座内容	課題発送日	課題提出締切日
1	関税法等	4月12日(水)	5月 1日(月)
2	関税法等	5月10日(水)	5月24日(水)
3	関税法等	5月10日(水)	5月24日(水)
4	関税定率法等	6月14日(水)	6月28日(水)
5	通関実務	6月14日(水)	6月28日(水)
6	通関実務	7月12日(水)	7月26日(水)
7	通関業法	7月12日(水)	7月26日(水)

■オリジナルテキスト(4冊)+参考資料

- 関税法・関税関係特例法
- 関税定率法・関税暫定措置法・外国為替及び外国貿易法
- 通関実務(輸出入申告・計算問題・品目分類・経済連携協定)
- 通関業法
- 関税関係小六法
- 通関士養成講座入門編

■配付図書 充実の副教材!

- 通関士試験問題・解説集(2023年度版)※4月配付予定
- ゼロからの申告書(2023年度版)※5月配付予定
- まるわかりノート(2023年度版)※5月配付予定
- 補習シリーズドリル/関税評価(2023年度版)※5月配付予定
- 補習シリーズドリル/計算問題(2023年度版)※5月配付予定

※配付図書は、発行され次第順次発送いたします。

■Web講義

- 各学習項目の要点を絞り収録された講義動画を何度でも視聴することができます。※詳細は、ホームページをご確認ください。

■質問受付

- 「質問専用フォーム」から受講期間中に20回までの質問が可能

■その他

- 受講生専用ウェブサイトを利用できます。

■受講料

講座対象科目	通常(一般)価格	税込み 早割 (2023/2/13までのお申込)
全科目 通関業法/関税法等/通関実務	77,880円	58,410円
全科目+特別答練	92,400円	72,930円

お得な早割料金をご利用ください

2023年2月13日(月)12:00までにお申し込みいただきますと、早割料金で受講することができます。



テキストと配付教材
(上記画像は、2022年度版です。)

■お申込方法

ホームページからお申し込みください。

<https://www.kanzei.or.jp/>

※申し込み後のキャンセルは原則として承っておりません。



オプション講座

特別答練(通関実務)セットでの申込締切:2023年 **4月3日 月 12:00**

通関実務対策

2日間の集中講座

目的

- ① 第3科目の通関実務でよく出題されている問題を **実践的に** 聞き、**解決テクニック** を学ぶ。
- ② 通関実務の重要な知識について、**講義を受け、理解を深める。**

定員 90名(先着順)

開催日 8月5日(土)~8月6日(日)/2日間

開催場所 オンライン(Zoomウェビナー)

日付	講座内容
8月5日(土) 10:30~17:00	問題演習・解説講義 通関実務、必須知識と留意事項(法令改正の解説など)
8月6日(日) 11:00~17:00	※演習問題(通関実務)は事前に配付します。

※「通信教育講座」とセットでお申込みいただくと大変お得です。

※オプション講座は、**教育訓練給付制度の指定対象外**です。

VOICE 先輩たちの声

すべてのテキストや参考書は大切ですが、特に重要だと感じたのは①ゼロからの申告書、②計算問題・関税評価ドリル、③特別答練テキストです。それぞれ3周以上実施し、理解できない箇所は関税協会の受講生専用質問フォームを活用して理解度を高めました。 [2021年度合格: Y・Nさん]

初回は関税法や関税定率法等の理解が曖昧な点が多く、2回目は通信講座、特別答練、模試を受講しました。テキストや過去問をどんどん解いて回答と解説を熟読し、各法律の概念や例外を理解するという実践的な勉強方法に切り替え2回目の受験で合格できました。 [2021年度合格: U・Sさん]

教育訓練給付制度を活用しましょう！

教育訓練給付制度とは、労働者や離職者が自ら費用を負担して、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険の給付制度です。(厚生労働省ホームページより)
「通信教育講座」は教育訓練給付制度の対象講座ですので、

当協会の修了認定基準を満たして講座を修了した人には、受講者本人が支払った受講費用の20%に相当する額がハローワークから支給されます。申請手続きは、講座修了後にご本人が行います。

早割で申し込まれた方も、給付制度をご利用いただけます。

「教育訓練修了証明書」の発行条件は以下の通りです。

通信教育講座において、期間中の7回の課題を全て各期日までに提出し、かつ修了試験で6割以上を点数すること。

〔申込みから給付までの流れ〕

1

当協会ホームページの講座案内から「JTAS Store」にアクセスし、講座申込入力画面右側の「教育訓練給付制度」の項目から※「利用有」を選択します。
※後からの変更はできません。

2

当協会に証明書類(運転免許証、保険証、住民票のコピーなど)を提出してください。手順は下記の通りです。

■ 通信教育講座／第1回課題提出時(締切:5月1日の当日消印分まで)に証明書類を同封してください。

3

修了認定基準を満たして講座を修了した方へ、給付申請に必要な書類一式を郵送します(2023年10月初旬)。

4

ご住所を管轄するハローワークで、講座修了日の翌日から1カ月以内に申請手続きを行ってください。
詳細については、直接ハローワークにお問い合わせください。

2023年度
第24回

全国通関士模試

2023年 8月20日回

今まで勉強してきた内容でモレはないか、時間内に問題が解けるかどうかなど、この模試でしっかり確認しておきましょう。

申込受付開始

2023年4月中旬予定
(詳細が決まり次第、ホームページでご案内いたします。)

「全国通関士模試」は毎年8月に行われます。本試験さながらの試験問題を解いて学習の成果を確認しましょう。

試験科目及び試験時間(予定)

	試験科目	時間
1	通関業法(50分)	10:00 ~ 10:50
2	関税法、関税率法その他関税に関する法律及び外国為替及び外国貿易法(第6章に係る部分に限る。)(100分)	11:20 ~ 13:00
3	通関書類の作成要領その他の通関手続の実務(100分)	14:00 ~ 15:40



通関士養成講座オンラインガイドンス

オンライン上で講座のガイダンスを実施予定です。
詳細はホームページにてご案内いたします。

